

平成29年度 事業計画書

1 基本方針

少子高齢化の進展に伴い、働く世代が減少している中、多様な生活ニーズの担い手として、また高齢者の社会参加の受け皿として、今後ますますシルバー人材センターの役割に期待が集まっています。

国においては、高齢化や労働人口の減少が進行する中、高齢者による人手不足分野や現役世代を支える分野での就業促進、新たな就業機会を確保する上で、シルバー人材センターの機能強化を図る施策を進めています。

さらに、介護保険法の改正による要支援者を対象とした新しい介護予防・生活支援サービス事業が本年度から実施されますが、当センターも訪問型サービスの事業者として参画することになりました。

また、多様化する会員の就業ニーズに対応するため、就労形態の適正化を図りシルバー派遣事業を推進します。安全就業面では、依然として就業中の事故が増加していますが、会員の資質向上を図るための研修会や講習会を開催し事故ゼロを目指します。

平成29年度の事業計画に当たっては、平成27年3月に策定した当センターの「中期計画」の目標の実現に向け、シルバー人材センターの基本理念のもと、シルバー事業の両輪である「会員の増大」及び「就業機会の拡大」を推進し、地区連絡会や各種会議等で会員の皆様からの提案・要望等を組み込み、中期計画に掲げる基本目標に基づき次のとおり事業を推進します。

2 事業実施計画

(1) 会員の拡大と就業率の向上

- ① 会員の拡大は、組織の根幹をなすものであることから、中期計画の目標数値である会員数の達成を目指します。
- ② 一会員一声運動を継続して実施し、会員の友人・知人への勧誘等を積極的に進め効果的な会員募集を行います。
- ③ 会員数を拡大するためには、退会者を上回る新規入会者数を確保することが必要であることから、ローテーション就業の徹底及び長期継続就業の解消を行い、未就業会員へのワークシェアリングを推進し、就業率を高めることで退会会員数の減少を図ります。

(2) 就業機会の拡大

- ① 就業機会の確保と会員の増加は、シルバー事業の両輪であることから、中期計画の目標数値である受注件数、就業延人員数の達成を目指します。
- ② 就業機会創出員を継続して配置し、企業訪問活動を実施し、新規就業開拓、継続契約の確保、拡大を図ります。
- ③ 一会員一就業開拓運動を継続して組織をあげて取組み、就業実績の少ない事務系の新規就業について創出するよう努めます。
- ④ 介護保険制度の改正により、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスの「しるば一応援隊サービス」として、積極的に事業に参入し新たな就業機会の確保を図ります。

(3) 普及啓発活動の推進

地域社会に対し、シルバー人材センター事業の目的や仕組みをはじめ活動を広くPRし、事業の普及・拡充及び会員の増大に努めます。

- ・専用リーフレットを折り込みチラシ等により各戸に配布
- ・シルバー事業の特集等を「広報いせ」へ掲載
- ・会報「伊勢シルバー」を発行しセンター情報を全会員に伝達
- ・地域イベントへ参加しチラシ等の配布
- ・三重県シルバーの日をはじめとし、清掃奉仕活動等の実施

(4) 技能講習・研修等の充実

技術・技能を必要とする職種について、研修や講習会を実施し技術の向上を図るとともに、植木剪定や草刈などの技能後継者不足に対応するため、技能講習会を開催し会員の育成を図ります。また、発注者や利用者等に満足いただけるサービスの提供を図るため、会員・職員の接遇研修を実施し資質の向上を図ります。

(5) 安全就業の徹底

- ① 安全就業は、シルバー事業の実施に当たり最も重要なことであり、「安全は全てに優先する」という基本に立ち返り、役員・職員・会員がお互いに安全・安心の意識向上に努め、事故の撲滅を図ります。
- ② 会員の就業中の事故の防止のため、安全委員会及び安全就業パトロール員による安全パトロールを実施し、就業前の安全ミーティング及び安

全保護具の着用に加え、現場着手前の安全確認の徹底を図ります。

- ③ 交通事故防止については、警察署と連携した安全講習会を実施し会員への周知を行います。また、会員の健康への意識啓発に努めます。

(6) 派遣事業の推進

- ① 適正就業の取組みとしては、請負・委任受注における就業内容の検証や、契約書類等の手続き方法の見直しを行い、就労形態の適正化を図りシルバー派遣事業の移行を積極的に推進し職域の拡大に努めます。
- ② 新規受注については、適正な就業形態で受注できるようにシルバー派遣事業の強化や、職員のスキルアップを実施し適正化を図ります。

(7) 事業運営の活性化

- ① 地区連絡会の充実強化

地区連絡会の目的である、地域貢献体制の強化及び会員相互の連帯意識の高揚を図るため、組織活動の充実と活性化への支援をします。また、会員自らが積極的にセンター運営に携わるよう、各種委員会活動の充実と職種班の活性化に取り組めます。

- ② 事務局体制の強化

三重県シルバー人材センター連合会との連携を密にし、適切な事業運営を推進し、職員の知識向上のため各種研修会等への積極的な参加を促進します。

(8) 財政の健全化

受取補助金の適正な活用とむだのない経費の執行により、効率的な予算の運用を図ります。また、中期計画が着実に遂行できるよう確認・検証を随時行い必要に応じて修正をします。